

国立研究開発法人 土木研究所

新規採用職員(研究職)募集案内(6月期)

土木研究所では前年、前々年の国家公務員総合職試験(工学他)合格者向けの平成29年度6月期採用面接を実施します。

募集要項

募集期間

平成29年4月3日(月)～平成29年5月19日(金)

応募資格

平成27、28年度国家公務員総合職試験(工学他)合格者

※身分は非公務員となりますが、勤務条件は国家公務員に準じています。

※試験区分等でご不明な点は、採用担当までお問合せください。

採用予定者数

土木、機械、下水道、砂防、地質及び農業分野で若干名

勤務地

茨城県つくば市：つくば中央研究所

水災害リスクマネジメント国際センター

構造物メンテナンス研究センター

先端材料資源研究センター

北海道札幌市：寒地土木研究所

採用面接

日時：①平成29年6月1日(木) 9:30～16:30

②平成29年6月2日(金) 9:30～12:00

場所：国土交通省 2号館B2会議室A

東京都千代田区霞が関2-1-2中央合同庁舎2号館(分館) 霞ヶ関駅 A3b出入口

※面接日は応募時に上記日時で調整させていただきます。

※面接会場へ直接の連絡はご遠慮ねがいます。

※採用面接の詳細は同ページ内にある採用面接案内(6月期)をご覧ください。

勤務条件※1

勤務開始日

勤務開始日は平成29年度途中又は平成30年4月1日で要相談

勤務日及び 勤務時間

月～金 8:30～17:15(フレックスタイム制度あり)

給与等

基本給：201,300円～(学歴や職歴により加算有り)

その他手当：地域手当、時間外勤務手当、扶養手当、通勤手当等を支給
賞与：年2回(6月、12月)

社会保険

国土交通省共済組合、雇用保険に加入

年次有給休暇

採用の年は15日(4/1採用の場合)、翌年からは20日。20日まで翌年に繰越可

特別休暇

夏季休暇3日間その他、結婚、出産、忌引等の場合

子育て支援制度

土木研究所は「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定(くるみん認定)を受けており、仕事と家庭(育児)の両立に向けた制度が充実しています。

※1:勤務条件は平成29年3月1日時点の内容。国家公務員に準じています。

女性活躍推進

土木研究所は女性活躍推進を進めており、女性を積極的に採用します。



国立研究開発法人土木研究所 企画部研究企画課 採用担当

〒305-8516 茨城県つくば市南原1-6 TEL 029-879-6751

mail: kikaku@pwri.go.jp

web: <http://www.pwri.go.jp/>



次世代育成支援
認定事業主

土木研究所の業務説明や施設見学等をご希望の方は随時対応させていただきますので、上記までお気軽にご連絡下さい。

土木研究所 とは？



土木に関わる調査、試験、研究及び開発並びに指導及び成果の普及等を行うことにより、社会資本の効率的な整備及び北海道の開発の推進に資することを目的とする国土交通省所管の国立研究開発法人であり、我が国の土木技術に関する研究開発において、中心的な役割を果たしています。

<組織の概要>

①つくば中央研究所

自然災害の防止・軽減、社会資本ストックの管理の高度化、環境問題への対応等土木技術全般の基盤となる技術に関する研究開発や技術指導等を実施しています。

②寒地土木研究所

積雪寒冷地における河川・道路・港湾・農業・水産に関する研究開発や技術指導等を行っています。

③水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM)^{アイチャーム}

日本政府とユネスコ間の合意に基づき、ユネスコの後援の元、世界の水関連災害の防止・軽減に役立てるための研究・情報ネットワーキング活動等を行っています。

④構造物メンテナンス研究センター(CAESAR)^{シーザー}

高度経済成長期に大量に建設された構造物が一斉に高齢化を迎える中、構造物の健全性を評価し、維持管理するための研究開発や技術指導等を行っています。

⑤先端材料資源研究センター(iMaRRC)^{アイマーク}

土木構造物の効果的な維持更新や低炭素循環型社会の構築に貢献するため、高度化・多様化が進展する材料資源研究分野の研究開発を組織横断的に行っています。



研究所で行う研究活動

大規模な実験施設を用いた研究を行っています



三次元大型振動台装置



大型動的遠心力荷試験装置

国の技術基準類に関わる基礎的な研究開発を行っています



耐震設計開発のための模型実験



防護柵開発のための衝突実験

災害時には職員が現地に赴き、復旧対策等について、行政担当者に指導を行います



熊本地震における土砂崩壊と阿蘇大橋落橋の被災現場にて



平成28年台風第10号等の豪雨災害における北海道日高町の橋梁や盛土の被災現場にて



つくば中央研究所



寒地土木研究所

土木研究所では、社会資本の整備・管理を通じて安全・安心で豊かな社会を構築するための研究に意欲的に取り組んでいただける研究職員を募集しています。

・土木研究所では実大規模の構造物を用いた実験を行っており、国内最大規模の実験施設がございます。就職説明会等で土木研究所の紹介をさせていただきます。見学、派遣についての詳細はお問い合わせ下さい。

【連絡先】国立研究開発法人 土木研究所 企画部 研究企画課 TEL:029-879-6751 E-mail:kikaku@pwri.go.jp

若手職員からのメッセージ



小関 博司

世界の水災害軽減のために、実用的な研究をしたい方は是非ICHARMへ

平成28年度採用
水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM)
水災害研究グループ 研究員

研究業務の内容、職場について

国内外における洪水中的の流量観測に関する技術指導や実河川の観測結果を基にした土砂水理学の研究に携わっています。また、民間との技術開発、研究機関との共同研究、行政への技術的助言等、産学官の連携に密接に係り、河川管理への貢献を直に感じることが出来ます。



バングラデシュ国プラマフトラ川における写真です。川幅15kmという日本には無いスケールや現象を目の前で体感できます。

先輩からのメッセージ

国内の技術力向上やその海外普及活動に貢献できることに非常にやり甲斐を感じています。



川島 陽子

多くの可能性を秘めた先端材料を土木にも活かします。

平成28年度採用
先端材料資源研究センター (iMaRRc)
材料資源研究グループ 研究員

研究業務の内容、職場について

アスファルトの性状評価に関する研究に携わっています。分析機器や屋外の走行実験場など、規模の異なる様々な実験設備が充実しており、材料の研究から実用性の検証まで体系的に研究することが出来ます。他の外部機関との連携を通じて、現行の試験方法を見直し、改善策の提案や普及活動などの貴重な経験ができる職場です。



恒温室内での実験の様子。地道な実験でも1つ1つ積み上げることが、大きな成果につながります。

先輩からのメッセージ

研究を通じて、自分の生活が”土木”に支えられていることを実感します。自然環境から社会インフラまで、幅広いフィールドで仕事をしたい方はぜひ土研へ。



角間 恒

寒地土木技術により社会資本ストックの高度化に貢献します。

平成27年度採用
寒地基礎技術研究グループ
寒地構造チーム 研究員

研究業務の内容、職場について

積雪寒冷地における道路橋床版の維持管理技術に関する研究に携わっています。劣化損傷した橋梁の現地調査や実構造を用いた疲労耐久性試験等を通して、国策に関わる最先端技術の開発に取り組んでいます。寒地土木技術の発信基地として国外でも活躍できる職場です。



床版模型の疲労耐久性試験の様子。世界でも有数の疲労載荷試験機により、実規模試験を基にした開発技術の検証を行っています。

先輩からのメッセージ

土木研究所には札幌に寒地土木研究所があります。日本で唯一の寒地土木技術に関する試験研究機関で共に研究をしましょう。

土木研究所で働くには？

土木研究所で働くには、次の2つの方法があります。

① 国家公務員試験総合職試験合格後、土木研究所の採用面接を受ける

② 適時募集される任期付研究員、専門研究員の募集に応募する

→ 専門分野毎に募集され任期は概ね3年～5年です。任期中に国家公務員試験総合職試験に合格するか、優れた研究業績を上げるにより正規研究職員への道がひらけます。

なお、任期付研究員・専門研究員の募集にあたっては、博士号取得または取得見込みが条件となる場合があります。

※ 採用に関する最新情報、詳しい情報はホームページをご覧ください。（「土研 採用」で検索下さい）
<http://www.pwri.go.jp/jpn/employ/saiyou/index.html>